

平成29年度第3回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日 時 平成29年6月23日（金）14時00分～15時55分

場 所 事務局棟5階大会議室

出席者 伊藤、大石、塩田、杉田、野田、細井
石井、丹沢、木村、東郷、堀川、寺村、鈴木の各委員

欠席者 泉、川勝、晝馬、本橋の各委員

陪席者 伊東副学長、鈴木、村松の各監事

議事に先立ち、議長から、岡部委員の辞任に伴い細井委員を任命した旨、報告があった。

I 前回議事録の承認について

平成29年度第1回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録（案）及び平成29年度第2回国立大学法人静岡大学経営協議会（メール審議）議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

伊東副学長から、平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、資料1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 教職大学院認証評価に係る自己評価書について

伊東副学長から、今年度受審する教職大学院認証評価に係る自己評価書について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 平成28年度決算について

堀川委員から、平成28年度決算について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 平成30年度概算要求について

堀川委員から、平成30年度概算要求のうち機能強化促進分等について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、平成30年度概算要求全般について7月に改めてメール審議するので協力願いたい旨、依頼があった。

5 国立大学法人静岡大学学長選考会議学外委員の選出について

議長から、国立大学法人静岡大学学長選考会議学外委員の選出について、資料5により説明があり、審議の結果、細井委員を選出した。

6 国立大学法人静岡大学年俸制運用細則の一部改正について

議長から、国立大学法人静岡大学年俸制運用細則の一部改正について、席上配布資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(学外委員から出された主な意見)

[⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

⊕：年俸制適用後の評価によって年俸額がプラスになる者もいれば、マイナスになる者もいるのか。

△：制度上は、プラス、マイナスともにあるが、制度導入後、間もないため現時点ではマイナスになった者はいない。

⊕：60歳以上になると勤務時間を少なくして、給与を少なくできるのか。

△：国際競争力が落ちている要因の一つとして、博士課程への進学者が頭打ちになっていて、若手研究者に対して安定した研究の道を開くことは必要であるが、大学側から60歳以上は勤務時間、給与ともに削減するということを行うのは難しいので、他大学の取組を含めて調査したい。

⊕：大学の活性化が大事である。60歳以上の教員にしわ寄せがいくことはよくないが、若手研究者が採用されるような仕組みが必要である。

⊕：年俸評価委員会等に置く委員長の責任はどのようなものか。

△：委員長は各委員会の議事を進行することを基本に想定している。

Ⅲ 報告事項

1 平成28年度卒業・修了者の進路状況（平成29年5月1日現在）について

寺村委員から、平成28年度卒業・修了者の進路状況（平成29年5月1日現在）について、資料6により報告があった。

2 平成28年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について

東郷委員から、平成28年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について、資料7により報告があった。

(学外委員から出された主な意見)

[⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

⊕：大学として、サイバー攻撃への対応方針や対策を強化していることはあるのか。

△:情報セキュリティに関しては種々の規則を整備し、外部からのサイバー攻撃、個人情報や機密情報の保護に対応するようにしている。また、情報セキュリティ上の課題は時々刻々と変化しており、その変化に対応することが重要であり、新たに静岡大学情報危機対策チーム（CSIRT）を設置して、サイバー攻撃や情報セキュリティ事故に即時に対応できるようにした。

3 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

伊東副学長から、第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、資料8により報告があった。

4 教育学部附属中学校の入学定員の改定について

議長から、教育学部附属中学校の入学定員の改定について、資料9により報告があった。

IV その他

1 静岡大学関連記事

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

以上